

今日の主の回復の主要な項目の極めて重要な点#5:永遠の命

詩歌(補充)、209番

2016.1.24

- | | |
|---|--|
| 1 飲め！御座よりのいのちのかわ。
食べよ！いのちの木とその実を。
見よ！ともし火もたい陽もいらす、よるはもうない！ | 1 Drink! A river pure and clear that's flowing from the throne;
Eat! The tree of life with fruits abundant, richly grown;
Look! No need of lamp nor sun nor moon to keep it bright, for
Here there is no night! |
| (復) 来たれ、れいとほなよめ言う。来たれ、さけびを聞かせよ。
来たれ、かわいているもの、いのちのみず飲め。 | Do come, oh, do come, Says Spirit and the Bride:
Do come, oh, do come, Let him that heareth, cry.
Do come, oh, do come, Let him who thirsts and will take
Freely the water of life! |
| 2 キリスト、わき出るみずのかわ、
キリスト、きょう受させる木と実。
キリスト、日、ひかり、明けのみょう星、キリストすべて！ | 2 Christ, our river, Christ, our water, springing from within;
Christ, our tree, and Christ, the fruits, to be enjoyed therein,
Christ, our day, and Christ, our light, and Christ, our
morningstar:
Christ, our everything! |
| 3 ころもあらい、いのちの木食べ、
「おお、主、アーメン、ハレルヤ！」。イエスあまい！
れいをかつようし、主をけい験す。何というキリスト！ | 3 We are washing all our robes the tree of life to eat;
“O Lord, Amen, Hallelujah!”—Jesus is so sweet!
We our spirits exercise, and thus experience Christ.
What a Christ have we! |
| 4 たい陽のようかがやくいえあり、
兄弟たちけつごうし真にいち。
われら主に得られ、主を展覧する、地方召かいで。 | |

I. 主の回復の道は、永遠の、神聖な命の道です。私たちは、主の回復における命の内在的な本質を認識する必要があります：

詩16:11 あなたは私に命の路を知らせられます。あなたの御顔には満ちあふれる喜びがあり、あなたの右手にはもろもろの楽しみが永遠にあります。

エレミヤ21:8 「この民に言わなければならない、エホバはこう言われる、『見よ、私はあなたがたの前に、命の道と死の道を置いている。』

A. 三一の神の内在的な本質は、永遠の、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の源であり(ヨハネ5:26)、子なる神は命の具体化であり(1:4)、霊なる神は命の流れです。

ヨハネ4:14 しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渴くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」。

- B. 新エルサレムの内在的な本質は、永遠の、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の光であり(啓21:23. 22:5)、子なる神は命の木であり(2節)、霊なる神は命の水の川です。

啓22:1 また御使いは、水晶のように輝く命の水の川を私に見せた。それは神と小羊の御座から、大通りの中央を流れていた。2 その川のこちら側にも向こう側にも命の木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民のいやしのためにある。

- C. 神は永遠の、神聖な命、すなわち復活の命によって召会を建造し、キリストの花嫁の用意を整え、新エルサレムを建造します。この命は、流れ、造り変え、建造する命です。

御父は光としての源であり、御子は私たちが受け入れるべき贖い主です。私たちのすべての罪を告白し、彼が私たちの罪のために十字架で死なれたことを承認し、認識するなら、直ちに、私たちの内側に流れがあるでしょう。これがその霊であり、この流れの内側には命の木があり、それは私たちの中で成長して、私たちが日ごとに養いを得るための命の供給となります。…これは私たちを新陳代謝的に造り変えます。この造り変える命は、建造する命でもあって、私たちを他の人たちと共に建造します。

- II. 永遠の命、三一の神の命は、三部分から成る人の中へと分与され、この命の中で、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通して、信者たちを主観的に救います：

ローマ5:10 というのは、私たちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われるからです。

- A. 第一に、この命はその霊の中の神聖な命でした。

ローマ8:2 なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。

- B. 第二に、この命は再生を通して、私たちの霊の中の命となりました。

ローマ8:10 しかし、キリストがあなたがたの中におられるなら、体は罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに命です。

- C. 次に、この命は私たちの霊から思いに浸透して、私たちの思いが属している魂を造り変え、私たちの魂の中の命となります。

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

- D. 最終的に、この命は私たちの体に浸透飽和し、究極的に、私たちの体の変貌、すなわち、私たちの体の贖いという結果になります。

ローマ8:11 そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

Ⅲ. 神の民の日常生活のための、また彼らが神と交わり、互いに交わるための唯一の道は、神聖な性質の中を流れる神聖な命です：

I ヨハネ1:3 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

A. 聖なる都の大通りは純金であり、金は神聖な性質を象徴します。そして命の水の川が大通りの中央を流れています。

啓21:21 十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠からなっていた。都の大通りは純金であって、透明なガラスのようであった。

B. 神聖な命が流れる所には、聖なる道としての神聖な性質があり、そこを神の民は歩きます。そして神聖な性質の聖なる道がある所には、神聖な命が流れています。

Ⅱ ペテロ1:4 彼はその栄光と美德を通して、尊く、際立って偉大な約束を、私たちにすでに与えてくださっています。それは、これらの約束を通して、あなたがたが情欲によるこの世の腐敗から逃れて、神聖な性質にあずかる者となるためです。

ヨハネ7:38 私の中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。

あなたは神聖な道、神の神聖な性質の大通りを取るとき、あなたの中を流れる命を持ち、またあなたを養う命の供給を持ちます。日ごとに、私たちがそのような生活をし、神の神聖な性質にしたがって歩くとき、私たちの供給としての命の水と命の木を享受します。私たちはみな、日ごとにその中央に命の水の川と命の木とを伴う神聖な金の大通りを経験する必要があります。それは、命の水と命の供給が神聖な道の中を流れることを表徴します。

C. 御座につながり、御座から出ている大通りは、「交わりの大通り」です。神聖な交わりは、神を彼の贖われたすべての民にもたらし、彼らを神ご自身に連れ戻して彼を彼らの御座とならせ、彼らの内側で彼の金の行政を執行します。

D. 私たちは神の神聖な性質の中を歩き、行動するとき、神の金の行政の下にもたらされて、命の流れと命の供給を享受します。

あなたが歩くべき大通りは彼の御座へとつながっており、その大通りは彼の行政です。あなたは **3**

悔い改めた日から、御座と金の大通り、金の行政があなたの内側にあることを感じてきました。そしてあなたは金にしたがって、神の性質にしたがって事を行ない始めました。これは、御座と大通りが両方とも、神の性質としての金の上に建てられているからです。

IV. 私たちは、命の木の原則、すなわち、依存の原則にしたがって生きるべきであって、善悪知識の木の原則、すなわち、独立の原則にしたがって生きるべきではありません：

創2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に命の木と、善悪知識の木とを生えさせられた。17 ただし、善悪知識の木からは、食べてはならない。それから食べる日に、あなたは必ず死ぬ」。

ローマ8:6 肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

- A. 神が私たちの食物であって、命の木によって表徴されているということは、私たちが絶えず神に依存しなければならぬことを意味します。知識の木は独立を示しています。
- B. 知識や宗教の意味することは、神の生ける臨在なしに良い人になり、良い事を行ない、神を礼拝し、神のために働くことです。

ヨハネ5:39 あなたがたは聖書を調べている。なぜなら、その中に永遠の命があると思っているからである。しかし聖書は、私について証しするのである。40 しかしあなたがたは、命を得るために私に来ようとはしない。

知識や宗教は、神の生ける臨在を持たずに、良い人になったり良い事を行なったりすること、神を礼拝したり神のために働いたりすることを意味します。神のために行なった善い事は、もし神の臨在がなければ、宗教です。ある事は、私たちにとって命と知識の両方であるかもしれませんが。私たちがそれを行なっている時に、生ける神の臨在を経験するなら、それは命です。しかしながら、もし神の臨在なしに行なうなら、それはただ死んだ知識です。どの道も方法も、私たちを助けることはできません。私たちは生ける神を必要とします。

- C. 神の目に、最大の罪は独立です。独立とは、霊的な絶縁体であって、私たちを神の命から断絶させます。エペソ4:18 彼らは、理解することで暗くなり、彼らの中にある無知のゆえに、その心のかたくなさのゆえに、神の命から遠ざけられ、

- D. 私たちは絶えず主に依存し、常に神との直接的な接触の中に生きることを学ばなければなりません。Ⅱコリント1:12 私たちの誇りとするのは次のことです。それは、私たちの良心の証しするところです。すなわち、私たちはこの世にあって、神の純粋さと誠実の中で、肉の知恵においてではなく、神の恵みの中で振る舞いました。そして、あなたがたに対しては、ますますそのように振る舞いました。 4

マタイ6:28 また、なぜあなたがたは、衣服について思い煩うのか？ 野のゆりがどのように生長するか、よく考えてみなさい。それらは労苦もせず、紡ぎもしない。30 今日にはここにあっても、明日は炉に投げ入れられる野の草を、神はこのように装ってくださるのだから、あなたがたにはなおさら、着せてくださらないはずがあるだろうか？ あなたがた信仰の小さい者よ。31 こういうわけで、『何を食べようか？ 何を飲もうか？ 何を着ようか？』と言って、思い煩ってはならない。32 なぜなら、これらの物はすべて、異邦人が切に求めているからである。あなたがたの天の父は、これらの物がすべてあなたがたに必要であることを、ご存じなのである。

V. 私たちは主に仕えることにおいて、私たちの天然の熱心、天然の力、天然の能力を拒絶しなければなりません。私たちの奉仕は、命を私たちから流し出して、他の人たちの命の供給とならせることでなければなりません：

Ⅱコリント3:6 神はまた私たちを新しい契約の奉仕者として、資格づけてくださいました。それは、文字ではなく、霊の奉仕者です。なぜなら、文字は人を殺しますが、その霊は人に命を与えるからです。

A. 私たちは神の命の火をもって、霊の中で燃えていなければなりません。私たちは異火をもって仕えるべきではありません。異火とは、天然の熱心を表徴し、それは十字架によって対処されておらず、また復活の中にありません：

出3:2 すると、エホバの御使いが、いばらやぶの中から火の炎の中で彼に現れた。彼がよく見ると、いばらやぶがあり、火で燃えていたが、いばらやぶは燃え尽きなかった。

ローマ12:11 熱心で怠けることなく、霊の中で燃え、主に仕えなさい。

1. 祭司の奉仕における異火、でしゃばりの罪は、神の御前で死をもたらします。

レビ10:1 さて、アロンの子たち、ナダブとアビフは、それぞれ自分の香炉を取って、火をそれに入れ、香をその上に盛って、異火をエホバの御前に献げた。それは、エホバが彼らに命じておられなかったことである。2 すると、火がエホバの御前から出て来て、彼らを焼き尽くしたので、彼らはエホバの御前で死んだ。

2. 異火をささげること、酒を飲むことと関係があったのでしょう。酒を飲むことは、この世的で、天然的な、物質の事物を過度に享受することを表徴します。

レビ10:9 「あなたも、あなたと共にいるあなたの子たちも、集会の天幕に入るときには、ぶどう酒や強い酒を飲んではいけません。それは、あなたがたが死なないためである。これは、あなたがたの代々にわたる永遠のおきてである。

聖書で、ぶどう酒を飲むことは、この世的で、天然的な、物質の事物を過度に享受することを

表徴しています。言い換えると、もし私たちがこの世のものを過度に享受するなら、これは私たちが常に酔っ払わせるでしょう。私たちが酔っ払っている時、私たちは興奮しており、制御を失い、規制なしに事を行ないます。アロンの二人の息子たちは酔っ払っていたので、興奮し、調子に乗って、規制なしに事を行なったのかもしれませんが。これは、彼らがでしゃばって異火をささげたことを意味します。異火をささげることは、でしゃばりの罪です。彼らは神のためにでしゃばって事を行ないました。事実、それは神への真のささげ物ではなく、神の規制に逆らうでしゃばったものでした。

3. 祭司は酒に酔うとき、聖を識別する能力を失い、神の民に教えることができなくなります。

レビ10:10 それは、聖なるものと俗なるもの、汚れたものと清いものを区別するためであり、

B. 私たちの天然の力と能力は、十字架によって対処されて、主に対する私たちの奉仕のために、復活の中で有用になる必要があります：

ピリピ3:3 なぜなら、私たちこそ割礼の者であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていないからです。

天然の力と能力は、もし十字架によって対処されたなら、有用なものになります。十字架によって対処された後、それらは復活の中にあるようになります。復活の中で、神聖なものが、私たちの力と能力の中へと造り込まれます。私たちの雄弁さの中にさえいくらかの神聖な要素が造り込まれています。私たちが語る時、私たちの雄弁さは十字架によって対処されている必要があります。十字架は常に、対処される人の中へと神聖な要素を造り込み、神を彼の中へもたらします。もしあなたが雄弁さの上で一度も十字架によって対処されたことがないなら、それは天然の雄弁さであって神聖なものは何もありません。しかし、もしあなたの雄弁さが対処されているなら、そのような雄弁さは復活の中にあり、神聖な要素で満ちています。天然の雄弁さには神がありません。しかし、復活の中で「対処された」雄弁さは神に満ちています。

1. モーセは神によって四十年間わきへ置かれた後、神の導きにしがたって神に仕えることと、神に信頼することを学びました。

使徒7:22 そして、モーセはエジプト人のあらゆる知恵をもって教育されて、言にもわざにも力がありました。23 こうして彼は四十歳になった時、兄弟であるイスラエルの子たちを顧みようとする心が起きました。7:30 そして、四十年が満ちた時、御使いがシナイ山の荒野において、いばらやぶの燃える炎の中で彼に現れました。

ヘブル11:28 信仰によって、彼は過越と血を注ぐことを設定しました。それは、初子を滅ぼす者が、彼らに触れることのないためでした。

2. ペテロは完全に失敗した後、信仰によって、へりくだりをもって、兄弟たちに仕えることを学びました。
マタイ26:69 ペテロは外の中庭に座っていた。すると、一人の女中が彼の所に来て、「あなたもあのガリラヤ人イエスと一緒にいた」と言った。70 ペテロはみなの前で否んで、「あなたが何を言っているのか、私にはわからない！」と言った。71 彼が門口へ出て行くと、別の女中が彼を見て、そこにいた人々に、「この人は、あのナザレ人イエスと一緒にいました」と言った。72 すると、再びペテロは、「そんな人は知らない！」と誓って否んだ。73 しばらくして、そこに立っていた者たちがペテロの所に来て言った、「確かにあなたも彼らの一人だ。あなたの言葉遣いからでもわかる」。74 その時、ペテロは「そんな人は知らない！」と、のろって誓い始めた。すると、直ちに鶏が鳴いた。75 ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度私を否む」とイエスが言われた言葉を思い出した。そして彼は出て行って、激しく泣いた。

I ペテロ5:5 同じように、若者たちよ、年長者たちに服従しなさい。またあなたがたはみな、互いに謙遜の帯を締めなさい。なぜなら、神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。

VI. キリストは王国の憲法の発布において、神の御前で人の生活と働きについて、二つの道があり得ることを示しました：

マタイ7:13 あなたがたは、狭い門から入りなさい。崩壊に至る門は広く、その道は幅広い。そして、そこから入って行く者が多い。14 命に至る門は狭く、その道は狭められているので、それを見いだす者は少ない。

- A. 崩壊に至る幅広い道は、この世の体系にしたがっており、天然の味わいを満足させ、群衆を獲得し、人の業績を維持し、人の事業を達成します。
- B. 命に至る狭められている道は、神聖な規制にしたがっており、霊的な要求を満たして、神の選びの民をもたらし、イエス・キリストの証しを担わせ、神のエコノミーを遂行して、キリストのからだを建造します。
- C. 命の中の生ける褒賞へと至る道は、この「道」です(使徒9:2. 19:9, 23. 22:4. 24:22)。すなわち、真理の道、真っすぐな道、義の道(II ペテロ2:2, 15, 21)、平安の道(ルカ1:79. ローマ3:17)、救いの道(使徒16:17)、神の道(マタイ22:16. 使徒18:26)、主の道(ヨハネ1:23. 使徒18:25)です。それは異端の道であると中傷されています(24:14)。
- D. 神の定められた道は、主の説明しがたい生活と務めの模範にしたがって、常に狭くて狭められている生活と働きを持つことです：

ヨハネ5:30 私は自分からは何も行なうことができない。私は聞くとおりに裁く。そして私の裁きは正しい。なぜなら、私は自分の意志を求めないで、私を遣わされた方のみこころを求めるからである。7

1. 主の回復において、私たちは霊の中で歩かなければなりません。霊の中で歩くことは、私たちを規制し、私たちに正常なクリスチャン生活をさせ、私たちをバイタルで健康な信者にします。
ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。
2. 主イエスはご自身を命の種としてまき、一粒の麦として地に落ちました。それは彼の内側にある命が解き放たれて、多くの麦粒を生み出すことができるためでした。私たちはこのようにして彼に仕え、彼に従う必要があります。
3. 主が召会を生み出し、増し加えるために必要とされる働きは、内なる命のあふれ出と流れ出であって、外側の活動の奮闘ではありません：

- a. 私たちの働きに関して重要なことは、その量ではなく、その質です。金、銀、宝石は、常に量は少ないのですが、質は高いのです。それに対して、木、草、刈り株は、常に量は多いのですが、質は低いのです：

1コリント3:12 ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、**13** それぞれの人の働きはあらわになります。なぜなら、かの日がそれを明らかにするからです。すなわち、それは火によって現され、その火自身が、それぞれの人の働きがどんなものであるかを証明するのです。**14** もし、その土台の上に建てた人の働きが残るなら、彼は褒賞を受けます。

(1) 金は神の神聖な性質を象徴し、銀はキリストの贖いの働きを象徴し、宝石はその霊の造り変える働きを象徴します。

(2) 木は人の性質を表徴し、草は肉の中にある人を表徴し、刈り株は命のないことを表徴します。

- b. 私たちがキリストの裁きの座で裁かれるのは、私たちの働きの量にしたがってではなく、私たちの働きの質にしたがって、すなわちその働きが「どんなものであるか」にしたがってです。
- c. 「ニー兄弟は外面の働きに関心がなかったので、彼の務めの命の結果は、すでに全地にあまねく流れています。…私の全生涯において認識している人の中で、彼は働きよりも命を重視した唯一の人であったと思います」。

経験:あなたは神の民として、日常生活で純金の大通りの上を歩んでください。それはビジネス・ライフにおける会議や打ち合わせなどの様々な人とのコミュニケーションにおいて、神聖な性質(金によって予表される)にあずかるべきであるということです。会社でのコミュニケーションのベースに、神聖な交わりによる神聖な性質にあずかることがあるべきです。案件について祈るだけでは足りません。絶えず霊を活用し、主の御名を呼び、主を呼吸し、主で満たされ、主と交わる中で、会議に臨んでください。そうすれば、あなたは純金の大通りの中で、会議をすることができます。そして、大通りの中央を命の水の川が流れているように、あなたは会議の中でも神を表現し、神を代表し、神の永遠の命を流しだすことができます。アーメン！